

平成15年3月期 第1四半期の連結業績等の概況

平成14年8月15日

上場会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル
 コード番号 4290

上場取引所(所属部)
 株式会社大阪証券取引所(ナスタック・ジャパン市場)

(URL <http://www.prestigein.com>)

本社所在都道府県 東京都

問合せ先氏名 中澤 宏晃

TEL (03) 5354-7800

1. 連結業績

(1) 平成15年3月期第1四半期(平成14年4月1日~平成14年6月30日)の連結業績

| | 平成15年3月期 第1四半期 (当四半期) | 対前年同期 増減率 | 平成14年3月期 第1四半期 (前年同四半期) | 参考 前年(通期) |
|------|-----------------------------|--------------|-------------------------------|--------------|
| 売上高 | 百万円 1,546 | % 2.2 | 百万円 1,513 | 百万円 5,966 |
| 営業利益 | 61 | 870.6 | 6 | 200 |
| 経常利益 | 46 | 1,698.2 | 2 | 175 |

(注) 1. 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社 3社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社 - 社

2. この報告における数値(前年通期を除く)については、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 連結売上高内訳

| | 平成15年3月期 第1四半期 (当四半期) | | 平成14年3月期 第1四半期 (前年同四半期) | | 参考 前年(通期) | |
|--------|-----------------------------|-----------|-------------------------------|-----------|--------------|-----------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| BPO事業 | 百万円 1,370 | % 88.6 | 百万円 1,252 | % 82.7 | 百万円 5,360 | % 89.8 |
| 旅行関連事業 | 176 | 11.4 | 261 | 17.3 | 605 | 10.2 |
| 合計 | 1,546 | 100.0 | 1,513 | 100.0 | 5,966 | 100.0 |

(注) 1. この報告における数値(前年通期を除く)については、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 主な資産・負債の変動について

| 項目 | 平成15年3月期 第1四半期末 | 増減額 | 前期末 |
|-----------|--------------------|-----|-----|
| (資産) | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 現金預金 | 516 | 61 | 454 |
| 受取手形及び売掛金 | 963 | 128 | 834 |
| 投資有価証券 | 168 | 66 | 101 |
| (負債) | | | |
| 支払手形及び買掛金 | 351 | 91 | 259 |
| 短期借入金 | 500 | 59 | 559 |
| 前受金 | 356 | 134 | 221 |
| 預り金 | 91 | 48 | 43 |

(注) 1. 項目毎の変動額が総資産の1%を超えるものを記載いたしております。

2. この報告における数値(前期末を除く)については、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業績の概況

(1) 市場環境

当四半期の日本経済の状況は、輸出や生産活動など一部の指標に改善の兆しが見られるものの、企業の設備投資や個人消費は低調に推移するなど、依然先行き不透明な状態にあります。

このような経済状況の中、当業界におきましては企業の業務効率化の動きをうけ、従来より当社の独自のソリューションパッケージを活用したアウトソーシング案件が増加してきております。特に、損害保険業界・自動車関連業界等で、その傾向が顕著にみられます。

(2) 当四半期の業績

[売上高]

当四半期(平成14年4月から平成14年6月)の売上高は、前年同四半期に比べて33百万円増加し、1,546百万円(対前年同期比2.2%増)となりました。セグメント別の内訳といたしましては、BPO事業1,370百万円(対前年同期比9.4%増)、旅行関連事業176百万円(対前年同期比32.6%減)となりました。

BPO事業におきましては、カーライフ・サポート(CLS)が順調に売上を伸ばしております。その要因としましては、ワランティパッケージの販売強化、既契約の見直し、大手クライアントの売上の拡大があげられます。

カスタマー・リレーション・マネージメント(CRM&e-CRM)は、国内マーケットに経営資源を集中することにより、既クライアントへのアウトソーシング業務の拡大、新たな取引先の獲得により売上増加となりました。

グローバル・アシスタンス&クレームプロセッシング(GACP)は、徐々に昨年の米国同時テロ事件以前の水準に戻ってきたこともあり、売上も微増となりました。

地域別売上高は、国内1,060百万円(対前年同期比4.6%増)、北米174百万円(対前年同期比0.5%増)、アジア・オセアニア107百万円(対前年同期比26.7%減)、欧州203百万円(対前年同期比13.6%増)となりました。アジア・オセアニアにおきましては、シドニー支店のCRM&e-CRMビジネスの減少が主な売上高の減少の要因であります。

[営業利益]

営業利益は、販売費及び一般管理費の削減によって前年同四半期に比べて54百万円増加し、61百万円となりました。当社では、前年度の経営環境の大きな変動に対してすべての事業においてコスト管理の強化、業務の効率化に全社一丸となって取り組んでおり収益性の向上を最優先課題としていたことの結果であります。経費削減の主な要因は、前第4四半期に行った大幅な組織変更を実施したことによりグループ全体として効率的な配置替えができ、且つ少数精鋭の管理体制構築により人件費を始め各種経費が減少したことがあげられます。

[経常利益]

経常利益は、前年同四半期に比べて44百万円増加し、46百万円となりました。

(参考)

| | | | 平成15年3月期 第1四半期 (当四半期) | 平成14年3月期 第1四半期 (前年同四半期) |
|--------|-----|-----------|-----------------------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | 百万円 1,546 | 百万円 1,513 |
| 内 訳 | 事業別 | BPO事業 | 1,370 | 1,252 |
| | | 旅行関連事業 | 176 | 261 |
| | 地域別 | 国内 | 1,060 | 1,013 |
| | | 北米 | 174 | 174 |
| | | アジア・オセアニア | 107 | 146 |
| | 欧州 | 203 | 179 | |

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 当期の見通し

(1) 平成14年5月24日に発表しております、平成15年3月期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)における当社の業績見通しは現時点で変更はございません。

【連結】

| 項目 期別 | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|----------|--------------|------------|------------|------------|
| 通期 | 百万円 6,000 | 百万円 420 | 百万円 250 | 18,735円01銭 |

【単体】

| 項目 期別 | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|----------|--------------|------------|------------|------------|
| 通期 | 百万円 4,500 | 百万円 310 | 百万円 180 | 13,489円21銭 |

(注) 1. 本見通しはあくまで予測情報であり、状況等によっては予想と異なる結果となる可能性があります。

(2) 業績の季節変動について

修理、レッカー移動等の実績を当社で負担するワランティー契約が主要な割合を占めているカーライフ・サポート(CLS)においては、自家用輸入車や個人向けの自動車保険を対象とする為ゴールデンウィーク、夏休みなど車で外出する機会の多い第1、第2四半期でコスト発生が集中する傾向にあり、これが期間収益を低下させる原因となっております。また、当社の主要業務である、通販販売を中心と

した小売業者のCRM&e-CRMにおいて、対応実績による変動報酬を原則としており、10月、11月のクリスマス商戦において、一般消費者からの受注等が急増し、当サービスの売上、利益が急増することが下期業績を向上させる大きな要因となっております。

4. その他

(1) セグメント別事業区分の名称変更

各事業におけるサービスの多様化等に伴い、前年度において事業区分名称を以下のとおり変更しております。

| 旧名称 | 新名称 |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| CRM事業 | BPO事業 |
| グローバル・アシスタンス・サービス (GAS) | グローバル・アシスタンス&クレームプロセッシング (GACP) |
| ロードサイド・アシスタンス・サービス (RAS) | カーライフ・サポート (CLS) |
| グローバル・コンタクトセンター・アウトソーシング (GCC) | カスタマー・リレーションシップ・マネージメント (CRM&e-CRM) |

(2) 資本金及び発行済株式総数の状況

| | 前期末 (平成14年3月31日) | 増加 | 減少 | 当四半期末残高 |
|---------|---------------------|----|----|-----------|
| 資本金 | 809,200千円 | - | - | 809,200千円 |
| 発行済株式総数 | 13,344株 | - | - | 13,344株 |

(3) 役員の変動

平成14年6月22日開催の定時株主総会において、次の役員の変動が決議されております。

新任監査役 監査役(非常勤) 玉舎 直人
監査役(非常勤) 土性 宏

以上